

【日本看護協会】

「2021年 病院看護・外来看護実態調査」

「2021年 看護職員実態調査」ご協力のお願い

調査結果は、看護職が健康で安心して働き続けられる職場の実現や、外来看護を含む地域での継続支援体制整備等に向けた国への政策提言や本会事業などに役立てていきます。

ご協力のほど、何卒よろしくお願いたします。

「病院看護・外来看護実態調査」とは

日本看護協会が全病院を対象に毎年実施している調査です。今回は、昨今の国の動向を踏まえて、外来看護の実態についても詳しくお尋ねしています。

※外来看護の実態把握は、厚生労働省 令和3年度 看護職員確保対策特別事業「地域包括ケア推進のための外来における看護職の役割把握調査事業」の補助金事業として実施。



[目的] ①病院における看護職員の需給動向や労働環境・業務等の実態把握
②外来看護職員配置と外来看護機能等の実態や課題の把握

[対象] 全国の病院約8,200施設（全数）の看護部長

[調査期間] 2021年10月1日（金）～10月31日（日）

[調査方法] 日本看護協会調査専用サイトから、調査票（Excelデータ）及び関連資料をダウンロードし、記入（入力）後、日本看護協会から事前に郵送したID・パスワードを入力の上アップロード。

「看護職員実態調査」とは

日本看護協会が会員を対象に4年に1回実施している調査です（会員から無作為に抽出した対象者に調査への協力依頼を送付）。

[目的] 様々な領域の看護職の労働の実態や課題、看護職の考え等を把握する。

[対象] 日本看護協会会員より無作為に抽出した個人（約15,000名）

[調査期間] 2021年10月1日（金）～10月15日（金）

[調査方法] Web調査。日本看護協会調査専用サイトから、日本看護協会から事前に郵送したID・パスワードを入力の上、パソコン又はスマホにより回答。



生きるを、ともに、つくる。

公益社団法人 日本看護協会